

真庭市副市長 須田副市長 退任 後任に 吉永副市長

平成21年から副市長として行政運営にあたってきた須田実副市長が、6月30日付で退任しました。同日市役所本庁舎で送別式が行われ、市役所職員や市民らが見送る中、庁舎を後にしました。翌7月1日には後任の吉永忠洋副市長の就任式が市役所本庁舎で行われました。吉永副市長は「真庭市は変革期にあり、どこにでもある自治体から中山間地域の日本モデルに変わっていきけるかは皆さんの力次第。職員ともしっかりと話をし、励まし支えて市政のために全力を尽くしたい」とあいさつ。任期は平成32年6月30日までの4年間となります。

【吉永忠洋副市長の略歴】

昭和31年3月7日生まれ

昭和53年に専修大学を卒業後、久世町役場に入庁。真庭市合併協議会事務局総務課長を務め真庭市の礎を築く。合併後は農林振興課長などを歴任し、平成28年3月まで総合政策部長を務めた。太田昇市長からの強い要請により、副市長就任を決意する。真庭市久世在住。



花束を受け取り庁舎を後にする須田副市長

7月15日、日本交通（大阪市）が運行する「鳥取・米子く大阪線」の高速バスが、湯原・蒜山（二川B.S.）に停車することになり、停車記念式典が地蔵公園駐車場（真庭市種地内）で行なわれました。また、この高速バスの発着時刻に合わせた湯原温泉、蒜山高原への「まにわくん」が運行を開始。7月1日からは、勝田交通（津山市）が運行する「真庭く岡山空港線」も新設され、全国へのアクセスが一層良くなります。

湯原蒜山（二川B.S.）高速バス停車記念式典 新たな交通手段運行開始



式典後、初の乗客を乗せ出発するバスを見送る参加者



工事の安全を祈り鍬入れをする太田市長

真庭火葬場安全祈願祭 火葬場の新築移転始まる

老朽化のため新築移転を行う、真庭火葬場の安全祈願祭が6月29日に行われました。新しい火葬場は、現施設の敷地と隣接の民有地を取得した計約4550平方メートルに整備します。真庭産木材を使った木造平屋一部鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積は約1450平方メートル。火葬炉4基のほか、ベット用の炉も1基備え、待合室は家族の最後のお別れができる部屋など計4室を設けます。平成29年7月の完成を目指しています。



市政に関する動きの一部を紹介します

第24回参議院議員総選挙

開票結果

7月10日に行われた、第24回参議院議員選挙の開票結果をお知らせします。
(真庭市の開票区のみ)

「岡山県選挙区選出議員」

- 当日有権者数 40,618人
- 投票総数 23,108票
 - うち 有効投票数 22,412票
 - 無効投票数 696票
- 各候補得票数【届け出順】
 - 小野田きみ 得票数 13,046票
 - たなべ雄治 得票数 687票
 - 黒石健太郎 得票数 8,679票

- 「比例代表選出議員」
- 投票総数 23,107票
 - うち 有効投票数 22,281票
 - 無効投票数 826票

- 各政党得票数【届け出順】
- ※名簿登載者の得票総数を含むため、按分した得票数を表示する。

社会民主党	314,845票
国民怒りの声	72,330票
おおさか維新の会	1,880,635票
公明党	4,051,157票
日本共産党	1,312,166票
幸福実現党	130,000票
自由民主党	9,440,343票
新党改革	137,935票
日本のことを大切にする党	163,000票
生活の党と山本太郎となかまたち	220,000票
民進党	4,396,582票
支持政党なし	162,000票

7/5 日本の伝統文化に触れたよ

河内小学校の児童が漆塗りに挑戦しました。子どもたちは蒜山に古くから伝わる郷原漆器の生産振興に携わる高月国光さんや、総社市在住の漆芸家・塩津容子さんらに教わりながら彩り豊かな作品を仕上げていました。



7/6 選挙や政治に関心を

真庭市内の高校生が、参院選期日前投票所で事務作業を体験しました。選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受けて市選管が企画。生徒たちは真剣な表情で投票用紙の交付などを行っていました。



市長室から
こんにちは!

「DRUM TAO」の勝山公演

先月、勝山文化センターで和太鼓のパフォーマンス集団「DRUM TAO」の公演がありました。和太鼓を中心としながら、日本の伝統的な楽器や舞踊を集合させた舞台芸術と表現すべきものかもしれません。その背景に、竹田市を拠点にして大自然の中で芸術創造を目指す生命力を感じます。私も久しぶりに身震いする感動を覚えました。

TAOは、今や世界で活動しており、今回はロードウェイ凱旋公演でした。発売日に1階席の券が完売し、当日は勿論満席。遠方からの観客もかなりいたようです。

なぜそんな人気公演が真庭に来るのでしょうか。実は、TAOがまだそんなに有名でなかった6年前から勝山で公演を続けており、「勝山は特別」と彼らが位置づけているとのこと。ありがたいし、当時の関係者の先見性に感謝します。

文化は、人に生きる力、感動を与えるものです。既存の文化を大切にしながら、新たに創造し挑戦する文化も重視し、大胆に取り入れて、未来志向の真庭を創っていきたいと思います。